第 37 回土木計画学研究発表会(春大会): 2008.6.6~7(北海道大学) 企画論文部門、若手研究者論文部門 セッション討議内容の記録

セッション名:国際交通体系の課題と政策(2)

日付: 6月 7日 (土)曜日, セッション時間: 17:45~18:45

オーガナイザー・司会者名(所属): 石黒一彦(神戸大学)

セッション全体:

討議内

(発表番号) 発表者名 (所属): (317)三輪英生(株式会社ニュージェック)

関空利用者で繊維産業の人が多いのは理由があるのか?→繊維製品全般を含むので,大規模ではないが繊維産業の件数が多い現状が反映されている.

医薬品が大阪に多いがサンプルには無いのか?→少ないためその他に含めてある.

(発表番号) 発表者名 (所属): (318)韓驥(名古屋大学)

SD 分析の枠組みとしての新規性はあるか?→ない. 環境関連に応用した点が新しい. モデルの精度のチェックが必要である.

Freight Volume の予測はどのようにしているのか?→11 次 5 カ年計画に基づいている.

シナリオの与え方の根拠は?→11次5カ年計画を基に設定している.

(発表番号) 発表者名 (所属): (319)大窪和明(東北大学大学院)

DW が低い推定式については系列相関が疑われる.

完全競争に近いという結論だけであれば、もっと直接的に限界費用と限界収入を推定するだけで得られる.このモデルから得られるより詳細な知見、あるいは他の知見が欲しい.

鉄くず問屋と電炉の数はそれぞれどの程度か?どちらかが極端に少ないとすると,輸送も無視できなくなる.